

議会だより

53号

平成29年
1月25日
発行

目次

◆委員会報告等	2～4 P
◆一般質問	5～9 P
◆議案審議結果など	10～11 P
◆行政視察報告	12～13 P
◆次回定例会日程など	14 P

糸魚川市駅北大火に際し、
謹んでお見舞い申し上げます。

糸魚川市議会
議長 倉 又 稔

昨年12月22日に発生した「糸魚川市駅北大火」で被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

当日は市議会定例会本会議を開催していましたが、市長始め職員に早期に災害対応に従事してもらうために、会議を一時中断しました。この間、災害対策本部が設置され、消火活動、住民避難等の対応に努めましたが、折からの強風の影響もあり、大きな災害となってしまいました。

議会では、27日の本会議で「被災者の復興支援を求める意見書」を全会一致で可決し、内閣総理大臣等へ意見書を送付しています。

その後、国・県への強い働きかけにより、がれき処理に掛かる支援など国・県への要望が叶えられたことは、今まで培われた米田市政と国・県との信頼関係の表れであると感じております。

議会といたしましても、皆様方のご意見、ご要望を的確に把握し、当面の復旧と今後の復興に向けてご支援いたす所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

第4回定例会を開催～12月5日から12月28日まで～

12月22日に発生した「糸魚川市駅北大火」により、市議会では、定例会の会期を延長し、火災対応に関する条例案や補正予算案を審議しました。

本定例会では、この度の火災後に提案された条例の制定や補正予算を含めた45議案が提案され、各常任委員会の審査を経るなどして、議案は全て原案どおり可決し、請願2件は採択としました。また、権現荘の問題に関する監査請求の決議や、被災者の復興支援を求める意見書等が議員発議され、可決されています。

本定例会において審議した議案等の結果については、10ページをご覧ください。

議会の動きは2ページに掲載してあります

市議会をホームページで
ご覧いただけます。

本会議の中継映像、録画映像と、予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。
また、本会議の会議録も掲載していますので、ご覧ください。

議会の動き

10月

- 4日 愛媛県西条市議会視察来市
- 5日 建設産業常任委員会行政視察（～7日）
- 12日 長野県松川村議会視察来市
愛知県刈谷市議会視察来市
- 13日 千葉県木更津市議会視察来市
- 14日 議会運営委員会
静岡県浜松市議会視察来市
- 18日 市民厚生常任委員会行政視察
- 19日 総務文教常任委員会行政視察（～21日）
- 25日 議会運営委員会視察（～26日）
富山県立山町議会視察来市
福岡県中間市議会視察来市
- 27日 神奈川県南足柄市議会視察来市
- 31日 総務文教常任委員会
千葉県市原市議会視察来市

11月

- 1日 市民厚生常任委員会
- 4日 糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会（当市）
- 7日 福井県大野市議会視察来市
- 8日 京都府舞鶴市議会視察来市
- 10日 沖縄県名護市議会視察来市（～11日）
- 11日 栃木県矢板市議会視察来市
- 14日 上越三市議会議員合同研修会（妙高市）
- 15日 総務文教常任委員会
- 16日 東京都日野市議会視察来市
茨城県結城市議会視察来市
兵庫県尼崎市議会視察来市
- 17日 長野県小諸市議会視察来市
- 21日 市民厚生常任委員会行政視察
- 22日 建設産業常任委員会
- 25日 地方創生調査対策特別委員会
- 28日 議会運営委員会
- 29日 京都府城陽市議会視察来市

12月

- 5日 本会議（初日）
- 8日 議会運営委員会
- 9日 本会議（一般質問）（9日、12日）
- 12日 議会運営委員会
- 15日 市民厚生常任委員会
- 16日 総務文教常任委員会
- 19日 建設産業常任委員会
- 21日 議会運営委員会
全員協議会
総務文教常任委員会
- 22日 議会運営委員会
本会議
- 27日 議会運営委員会
本会議（最終日）
全員協議会

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された条例制定や補正予算などの案件について、3つの常任委員会で審査をし、議案については全て原案どおり可決し、請願2件は採択としました。

審査の概要は次のとおりです。

■ 総務文教常任委員会

条例の制定7件、補正予算2件、その他5件を審査しました。また、「学校給食における危険異物の混入について」「いじめ・不登校対策事業について」「フォッサマグナパーク保存活用計画について」及び「権現荘の経営改善について」の所管事項調査を行っています。

■ 市民厚生常任委員会

条例の制定6件、補正予算2件、請願1件を審査しました。また、「第3期糸魚川市地域福祉計画（案）について」「第10次糸魚川市交通安全計画（案）について」「第3次糸魚川市犯罪のない安全・安心なまちづくり推進計画（案）について」「第2次いといがわ男女共同参画プラン（案）について」「糸魚川市人権教育・啓発推進計画（案）について」「糸魚川市空家等対策計画（案）について」及び「次期ごみ処理施設の整備について」の所管事項調査を行っています。

■ 建設産業常任委員会

条例の制定6件、補正予算2件、請願1件、その他7件を審査しました。また、「烏帽子の里の火災について」「長者温泉ゆとり館の管理運営について」及び「糸魚川市地域公共交通網形成計画の策定について」の所管事項調査を行っています。



閉会中の所管事項調査

常任委員会が、定例会の会期以外の日に行う調査です。

■ 総務文教常任委員会

10月19日～21日（市外調査）

- 12ページをご覧ください。

10月31日

- 小・中学生の学力の実態と対応について
- いじめ・不登校対策事業について
- 平成28年度糸魚川市総合防災訓練実施結果について
- 匠の里創生事業の進捗状況について
- 地区懇談会の実施状況について
- 権現荘の経営改善及び指定管理者制度移行について

11月15日

- 行政改革について
- 第2次糸魚川市生涯学習推進計画の策定について
- 保育園・幼稚園の民営化の検討について
- 小・中学校の適正配置について
- いじめ・不登校対策事業について
- 権現荘の経営改善及び指定管理者制度移行について

■ 建設産業常任委員会

10月5日～7日（市外調査）

- 12ページをご覧ください。

11月22日

- 糸魚川市地域公共交通網形成計画の策定について
- 能生地域企業団地用地の取得について
- 長者温泉ゆとり館の管理運営について
- ガス料金の改定について

■ 市民厚生常任委員会

10月18日（市外調査）

- 13ページをご覧ください。

11月1日

- 糸魚川市の認知症施策について
- 次期ごみ処理施設の整備について
- ごみ処理施設の運転管理委託について
- 請願第4号について

11月21日

- クリーンヒルこもろについて（長野県小諸市）（市外調査）
- 次期ごみ処理施設の整備について

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

10月14日

- 議会改革について
- 市外調査について

10月25日～26日（市外調査）

- 13ページをご覧ください。

11月28日

- 第4回市議会定例会の会期及び日程について
- 請願・陳情の付託について
- 平成28年度予算議会費の補正について
- 委員長報告について
- 平成29年度議会費予算要求の概要について
- 議会改革について
- 市外調査の集約について

12月8日

- 議会運営について
- 議会改革について

12月12日

- 議会運営について

12月21日

- 委員長報告について
- 議員発議について
- 閉会中の継続調査の申し出について
- 平成29年3月定例会の会期及び日程(予定)について
- 特別職報酬等審議会への議員報酬等の説明について
- 政治倫理規則について

12月22日

- 議員発議について
- 日程の変更について
- 会期の延長について

12月27日

- 追加議案について

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

■ 地方創生調査対策特別委員会

11月25日

●付議事件調査について

中間報告

本定例会本会議で、地方創生調査対策特別委員会の中間報告が行われました。概要は、次のとおりです。

- 糸魚川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、
- 糸魚川市をどうするのかという姿が見えてこない。グランドデザイン的な考え方と、小さな拠点づくりの視点を全体に反映させてもらいたい。
- 新幹線時代に対応した新たなまちづくり、インパクトや夢のあるプランにしてほしい。
- 女性が活躍できるよう、まだ強化すべきである。
- 中山間地を30年間どうやって持続させていくか、具体的に示してほしい。

などの意見があった。

そのほかに、各委員からの指摘と数々の提案や、一般質問の内容などで挙げられている項目こそが、糸魚川らしい本当のニーズであり、そういう視点に立って取り組んでもらいたいのがどうかという質疑に対し、今後の総合戦略を見直す中においても取り入れるべき点もあると思っているので、今後見直し、予算編成等を進める中で、糸魚川の独自性を出す形で見直しを進めていきたいとの答弁があった。

また、DMO※、インバウンド推進については、委員から、

- 民間と行政の中間のバランスをとって、民間と一緒に進められる思い切った組織機構の改革にしなければならない。
- どういう仕組みを作るか、どういう人材を活用して

- いくか、せっかく育てた人材をしっかりと活かしていく後継育成も含めてやっていくことが重要だ。
- 市民レベルでの情報共有、地域資源を誇りに思う意識とスキルの向上が非常に弱い。しっかり受入態勢を作らなければ人は来ない。ジオパークに関わる、お金を落とす仕組みと経済効果を真剣に考え、総合的にやっていくのがDMOだ。

との意見があった。

高校の魅力づくりについては、行政側から、

- 県の方針では、魅力のある高校であれば小規模校であっても残る可能性があり、今後の魅力づくりについては、3つの高校それぞれが学校長を中心に行政も後援会も支援する中で、実際の実務の中で今までにない方法をしていかなければならないと考えている。
- 平成29年度から31年度については統合の予定はないが、それから先については、県立高校再編整備計画を来年の6月に発表予定で、これから冬にかけて検討するとのことである。

との説明があった。

今後の委員会の取組としては、新年度予算を踏まえた総合戦略の改訂版策定の審議や、高校の魅力づくりの今後の取組などを踏まえた論議の中で、この特別委員会として結審に向けて進めていく。

権現荘と駅北大火の案件について、全員協議会を開催

全員協議会を次のとおり開催しました。

(1) 権現荘の指定管理について (12月21日)

総務文教常任委員会の調査の中で提出された権現荘における不正、横領の疑いにかかる調査結果と、指定管理者制度移行までの経過について説明を受け、質疑を行いました。

(2) 糸魚川市駅北大火について (12月27日)

12月22日に発生した大火について、対応状況等の概要、被災家屋等のがれき処理、被災者支援について説明を受け、質疑を行いました。



12月27日全員協議会の様子

全員協議会とは…市政に関する重要な事件又は議会運営に関する事項について協議又は調整するために、議員全員が出席して開かれる会議です。

※DMO…マーケティングに基づく観光戦略の策定・推進や、地域内の幅広い関係者との合意形成など、観光事業のマネジメントを担う機能・組織。Destination Management Organizationの略。



中村 実
議員

質問

米田市政継続について

米田市政も3期12年目が終わろうとしており、北陸新幹線開業、世界ジオパークの認定や膠着（こうちゃく）していた地域高規格道路松本糸魚川連絡道路に明るい兆しが見えるなど評価すべき点も多くある一方、学校でのいじめ問題や権現荘など、今後しっかりと対応及び説明をしていかなければならないことや、自然災害に向けた防災や減災など多くの問題も山積しており、米田市長の任期内での対応は非常に難しいと思われる。

引き続き4期目の市政運営に取り組む意思があるか、市長の前向きな答弁を伺う。

▼市長答弁

平成17年3月の1市2町合併による新市誕生以来、今日まで、3期11年7か月にわたって、市長の重任を担わせていただいた。この間、公民館体制や公共料金の統一など、合併未調整事項

の解消を進めながら、総合計画に掲げた「翠（みどり）の交流都市 さわやか すこやか 輝きのまち」の実現に向けて、誠心誠意、産業振興や住民福祉の向上など、様々な事業に取り組んできた。

特に、地域資源や特性を活用することにより地域の振興につなげるジオパークの理念について、日本国内で最初のジオパーク活動に市民の皆様と取り組み、その結果、日本で初めてとなる世界ジオパークの認定を受けることができた。このジオパーク活動によって、合併後の能生、糸魚川、青海3地域の様々な事項において、一体感の醸成が図られたものと考えている。

その他、任期中を振り返ると、地域医療、地域づくり、教育、公共インフラ整備や市民の生命、財産の確保対策、新幹線開業などに取り組み、これまでの議会、並びに市民の皆様からのご理解とご協力に対し、深く感謝を申し上げる。

残された任期については、これまでの課題、また、皆様から厳しく指摘を頂いている点については、真摯に受け止め、反省すべきは反省し、見直すべきは見直し、初心に戻って、対応していきたいと考えている。今後の行財政の状況については、一層厳しさが増し、市政運営は更に厳しくなることが予想される。これらの課題は、決して先送りすることは許されず、私自身、課題の解決については深く責任を感じている。

今後の身の振り方については、前向きに検討していきたいと考えている。

もっと聞きたい！一般質問



笠原 幸江
議員

質問

なぜ止められない、市内中学校で
続発しているいじめ重大事態について

- (1)初期段階の取組が、その後長引くかどうかの非常に大きな分岐点になるが、なぜ対応できなかったのか。また、被害生徒・加害生徒の心の指導は適正に対応されているか。
- (2)能生中学校の相撲クラブ事案について、生徒の人権を守るために関係者にどのように対応したか。また、10月11日の保護者説明会で、学校職員が教育委員会に対し、初期段階で報告をしているのになぜ対応しなかったかなど不満を訴えているが、その後の対応はどうか。

▼教育長答弁

- (1)いじめ発生後はその都度、行動計画に基づき対応しているが、解消まで長引いていることについては徹底が足りなかったと受け止めている。また、スクールソーシャルワーカー、

教育相談員等を配置し、被害、加害生徒からの相談を受け、心のケアに努めている。

- (2)県体育協会及び法務局など関係機関に報告し、対応を協議している。また、教職員との対策協議の場を設け、学校との情報共有を図っている。

質問

柵口温泉「権現荘」ショルダーバッグ
紛失物、その後の対応について

忘れ物のショルダーバッグが紛失物として10か月間失念されていたことが明らかになった。

職員に対し、マニュアルをどのように徹底され指導しているか。

▼市長答弁

今回の事案を教訓として、権現荘職員に対し「忘れ物・拾得物取扱いマニュアル」を徹底し、取扱いに遺漏のないよう努めている。





田原 実
議員

質問 シーフードの街いといがわ「糸魚川 SEAFOOD CITY」について

「シー（海洋）」と「フード（食材・食事）」の活用は、糸魚川市が観光や雇用や移住や留学の目的地となるために不可欠なものと考えているが、海洋資源の活用と保護による持続可能な地域の実現をこれからのまちづくりの大きな柱とすることについて「糸魚川 SEAFOOD CITY宣言!」を提言する。市長の見解を伺う。

▼市長答弁

北アルプスから日本海までの高低差4,000mの起伏がもたらす漁場から水揚げされる新鮮な魚は、糸魚川の地域振興の重要な資源と捉えている。海洋資源の活用は、これまでもまちづくりの重要な柱として取り組んでおり、保護については、

漁業者自らも取り組む中で進めてきた。これからも、当市のジオパークの恵みがもたらす海洋資源の魅力を活用することにより、市のPRや交流人口の拡大に努めていく。

質問 翡翠（ヒスイ）の「国の石」認定とその活用について

翡翠（ヒスイ）による糸魚川の知名度アップについて伺う。また、人気テレビ番組「プラタモリ」などで、糸魚川のヒスイ、フォッサマグナ、マイコミ平などを撮影地として取り上げてもらう働きかけについて伺う。

▼市長答弁

当市が以前からまちのシンボルとして活用してきたヒスイが日本の国石となったことを機に、市民や関係団体の皆様とともに官民一体となった更なる知名度の向上に取り組んでいく。

また、NHK新潟放送局や日本ジオパークネットワークを通じ、積極的な情報収集と情報提供に努めている。

その他質問項目

- 医療現場の現状と課題について
- 権現荘問題について



田中 立一
議員

質問 農業の30年問題について

農業の30年問題という転換期を迎え、農家の安定した所得確保と持続可能な水田農業を確立するための施策が必要だが、市の対応について伺う。生産数量目標配分、直接支払交付金の廃止について、また、平成29年度からの水田フル活用ビジョンについてどうか。

▼市長答弁

県やJA等の関係機関と、情報収集及び今後の対応について検討を重ねており、先月には関係機関とともに大規模農家との意見交換会を開催した。今後も引き続き、国や県等の動向を注視していく。

また、主食用米から飼料用米や野菜、果樹などの高収益作物への転換を図りながら、地域の特色を活かした産地づくりを推進していく。

質問 権現荘の経営について

- (1)平成21年度以降の市外業者との酒類の取引状況について伺う。また、リネンはどのようにしているか。
- (2)リニューアル前から現在に至る指定管理に対する市の方針変更を伺う。

▼市長答弁

- (1)5店舗から、7年間で総額147万円となっている。リネンについては、上越市の事業所と長期継続契約で行っている。
- (2)平成24年度には指定管理者の募集とあわせて施設改修を進める方向であった。しかし、多くの課題があることから、平成25年度には市直営で温泉センターの機能統合を含めたリニューアル工事を行うこととし、その後2か年の決算状況を確認した上で指定管理者を募集する予定であった。この度の権現荘を取り巻く様々な課題を重く受け止め、できるだけ早く市直営から指定管理者制度に移行したいことから、公募によらない特命随意契約で来年4月から株式会社能生町観光物産センターによる運営を進めたいと考えている。

その他質問項目

- 文化振興について
- 北陸新幹線の騒音問題について



質問

「権現荘運営に関わる答弁」と「赤字収支改善を目的とした支配人の民間登用」の検証について

- (1)平成22年度の赤字を分析すると市長答弁されているが、その分析方法と結果はどうか。特に食材料費はどうか。
- (2)「プロの支配人」を民間登用した成果と損失の検証についてどうか。

▼市長答弁

- (1)平成22年度は本館休止という大きな転換点となったことから、宿泊客数が対前年で28%減少し、宿泊売上は20%減少となった。一方であんこうプランなど新たな料理プランにより、食堂売上は対前年11.6%の減少にとどまっているが、食材料費についてはアンコウの仕入原価が高かったこともあり、食材原価率は63%であった。
- (2)食を中心にした営業戦略と料金体系の見直しによる新たな



質問

権現荘問題疑惑解明と説明責任及び指定管理移行について

- (1)経営実態の調査と赤字に至る経緯と原因について
- (2)支配人の業務実態と違法性の検証について
- (3)経営健全化と指定管理移行前倒しの方針について

▼市長答弁

- (1)経営実態の調査は、内部監査及び公の施設指定管理者選定委員会により経理関係、労務関係及びご意見直通便の検証について報告いただいている。赤字の原因としては、リーマンショック、東日本大震災、灯油単価の高騰などの外的要因や、施設の老朽化による入込の減少、リニューアル工事に伴う休館による収入減、原価管理の不徹底による経費の増などの内的要因があると考えている。
- (2)現在、総務文教常任委員会において前支配人在任中の行動について調査が求められており、その結果により明らかにしていく。

営業戦略の方向性については一定の評価ができるが、リピーター対策としてのお酒等の提供については、検証や評価は難しいと考えている。

質問

子育て支援について

- (1)平成29年10月から病児保育が始まるが、病児・病後児保育の周知と行政支援はどうか。
- (2)保護者の働き方に合わせた今後の保育事業について、学童保育の時間延長と24時間保育の取組状況はどうか。

▼市長答弁

- (1)病後児保育については、広報やホームページ、保護者への通知により周知している。また、病児保育については実施する方向で協議している。
- (2)学童保育の時間延長は要望の多い地域から実施しており、今後も利用状況を見て拡充していく。また、24時間保育については、今後、子ども子育て会議において検討していく。

その他質問項目

- 持続可能なまちづくりについて
- 小中高生におけるいじめとパワハラについて

- (3)市議会で指摘いただいた改善点などを実施する中で、健全経営に努め、本年度は黒字を確保していきたいと考えている。また、この度の権現荘を取り巻く様々な課題を重く受け止め、できるだけ早く市直営から指定管理者制度に移行したいことから、公募によらない特命随意契約で来年4月から株式会社能生町観光物産センターによる運営を進めたいと考えている。

質問

続発するいじめ問題とその責任について

- (1)能生中学校におけるいじめ重大事態の経緯と現状は。相撲のまちとして推進するあまり、甘い対応となっていないか。
- (2)責任問題をどう考えているか。

▼教育長答弁

- (1)重大事態の経緯は、中学1年生が3年生から暴行によるいじめを受け、前歯を折るというけがを負ったものである。現在、いじめ問題専門委員会へ調査を依頼している。今回のいじめと相撲のまち糸魚川の事業は別のものと考えているが、いじめにはしっかりと対応していく。
- (2)現段階では、いじめの原因と背景を明らかにし、再発防止策を徹底していく。



五十嵐健一郎 議員

質問 糸魚川版DMOの取組と産業振興策について

- (1)組織体制と広域連携について
- (2)Ito-Biz（糸魚川産業振興センター）創設について
- (3)糸魚川ブランド戦略とシティプロモーションの推進について
- (4)女性市職員によるプロジェクトチームの取組と今後について

▼市長答弁

- (1)観光協会が中心となり、関係者と連携を取りながら糸魚川版DMOとして取組を進めていく。また、今後、広域連携の取組の強化を進めながら広域連携DMOについて検討していく。
- (2)商工団体を始め関係機関等との連携を図る中で、なりわいネットワークや創業支援ネットワークなど、企業支援室が連携拠点としての役割を果たしているところであり、糸魚川

産業振興センターの創設は考えていない。

- (3)今年度から、食を中心とした地元産品ブランドプロジェクト事業として、糸魚川産品のブランドコンセプトの構築と試行的なプロモーション活動に取り組んでいる。
- (4)市内で働く女性や子育て中の女性へのヒアリングで得た課題の解決に向けて、今後、企業と連携した取組を進めていく。

質問 地域包括医療ケアシステムについて

- (1)特別養護老人ホーム申込者数とサービス付き高齢者向け住宅等の誘致について
- (2)糸魚川版CCRC※構想の調査研究について

▼市長答弁

- (1)平成28年2月現在432人であり、そのうち、在宅の要介護4と5の方は68人となっている。また、サービス付き高齢者向け住宅については、自宅志向が高いことなどから、現状において誘致は難しいと考えている。
- (2)当市の課題である医療・介護人材の不足や新たな施設整備への投資など課題もあるので、民間事業者の参入の可能性など全国の取組事例も含め調査研究を進めている。



新保 峰孝 議員

質問 権現荘の管理運営について

- (1)権現荘の宿直について、市の考え方はどうか。また、住民監査請求による監査の結果は、何を対象に出されたものか。
- (2)小林前支配人が糖質ゼロの酒をスーパーから直接購入していたが、なぜ取引業者から購入しないのか。

▼市長答弁

- (1)通常時はシルバー人材センターの宿直員1名体制で、5室10名以上の利用がある時には、職員を加えた2名体制で行っている。監査の結果については、飲酒を伴って宿直した場合の客室の諸費用を対象に返還請求をするよう勧告があった。
- (2)現在、総務文教常任委員会において、前支配人在任中の行動について調査が求められており、その結果により明らかにしていく。

質問 いじめ問題について

- (1)連続して中学校でいじめが起きているが、なぜ次々と起きているのか、認識を聞きたい。
- (2)能生の中学生相撲クラブと能生中の関係はどのようなになっているか。改める必要があるのではないか。
- (3)いじめには厳しく対応すると同時に、障がいによるものも含め人間の多様性の認識を深め、人権感覚を身につける教育・学習が生徒、教員ともに必要ではないか。また、市全体での取組も必要と思うがどうか。

▼教育長答弁

- (1)関係する条例、基本方針に沿って対処しているが、徹底が足りなかったと受け止めている。
- (2)クラブは学校の部活動ではなく、社会体育として活動しているが、学校と連携しながら生徒を指導する必要がある。
- (3)学校では児童生徒の人権意識を育てる授業や研修会を実施している。市教育委員会及び学校が主体となっていじめの対応に取り組むが、地域全体での協力もお願いしていく。

その他質問項目

- 個人番号制度について
- 健康づくりについて

※CCRC…高齢者が健康なうちに地方へ移り住み、生涯学習や社会貢献に取り組みながら暮らす生活共同体。
Continuing Care Retirement Communityの略。



古川 昇
議員

質問 介護保険事業について

2015年からの制度改正により、重い介護負担が高齢者に課せられ、介護サービス基盤整備の遅れが課題となって、介護制度を取り巻く環境は更に厳しさを増している。

- (1)施設整備は保険料負担への影響や需要量を踏まえて計画すると聞いたが、現状の課題をどう捉えて今後の施設整備計画を立てるのか。
- (2)認知症地域支援事業は早期発見、医療と介護の連携強化を図っているが、初期支援チーム・支援推進員配置など、進み具合と計画を伺う。

▼市長答弁

- (1)要介護認定者のアンケート調査やケアマネジャーに対する調査を実施し、課題やニーズを把握した上で施設整備計画を立てることとしている。
- (2)平成27年4月から福祉事務所に認知症地域支援推進員を

配置しており、認知症ケアカフェの支援や高齢者の徘徊（はいかい）を見守るネットワークづくりなどを推進している。また、現在、認知症の状態に応じた適切な医療・介護等をまとめた認知症ケアパスを作成中であり、今後は認知症初期集中支援チームを平成30年4月に設置する予定である。

質問 権現荘運営について

権現荘の運営管理で不正会計が疑われる段階では、権現荘問題を終わりにするわけにはいかない。

- (1)レストランの注文伝票が1年以上にわたって破棄されていた事実について、いつ、誰が、どこで見つけたのか。
- (2)廃棄の事実が即刻、能生事務所に報告され、廃棄の事実確認、経過、原因などの調査は速やかに実施されたのか。
- (3)注文伝票は能生事務所で受領、管理されていたのか。
- (4)酒類の仕入れと売上げの調査は行ったのか。
- (5)スナックの営業は予約制で行っていたとのことだが、それ以外での使用実態はなかったか。

▼市長答弁

現在、総務文教常任委員会において前支配人在任中の行動について調査が求められており、その結果により明らかにしていく。



吉岡 静夫
議員

質問 市長・市議の二代表制の中で、地域住民の実情にあった行政運営（議会基本条例）を体現するため、私たちがなすべきは。

- (1)議会基本条例の理念について、このことをどう受け止めているか。また、市民主権、二代表は、行政を進めていく上で鉄則だが、市民・議会（議員）・市長（行政）間における情報は、質・量ともに格段の差がある。このことをどう受け止め、どう対応しようとしているか。
- (2)「イケイケどんどん」や「みんなで渡れば」に、はめつけてはならないと私は考える。今、国は「一億総活躍」「地方創生」の旗ふりに躍起。当糸魚川は「ジオパーク」。「活躍」も「創生」も頭から否定はしない。また、人それぞれ地質学に興味を持つことも。ただ、一人ひとりとなると「活躍」できない人も「創生」に恵まれない人も、「興味」のない人も。それらの一人ひと

りが、「地域住民」として地道に生き活きと暮らし続けられるまち、そんな「地域住民の実情にあった行政運営」を強く提唱する。いかがか。

▼市長答弁

- (1)議会基本条例は、議会と市民、議会と市長やその他の執行機関との関係を明らかにし、市民の負託に真摯に応えるために、議会の最高規範として制定されたものと理解している。また、把握する情報量は、それぞれの立場において違うものと認識している。市民の皆様には、広報やホームページ等で、また、議員の皆様には、各委員会等を通じて、引き続き適切な情報を分かりやすく提供していく。
- (2)市民の誰もが住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいを持ち、充実した生活を送ることができるよう、行政運営を進めていきたいと考えている。



番号等	件 名	結 果
108	平成28年度糸魚川市一般会計補正予算（第5号）	可 決
109	糸魚川市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
110	糸魚川市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
111	糸魚川市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
112	糸魚川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
113	糸魚川市有線テレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
114	糸魚川市青海総合福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
115	糸魚川市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
116	糸魚川市民会館条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
117	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可 決
118	損害賠償の額の決定及び和解について	可 決
119	財産の譲与について	可 決
120	指定管理者の指定について（柵口温泉権現荘）	可 決
121	指定管理者の指定について（能生マリンホール）	可 決
122	糸魚川市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
123	糸魚川市下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
124	糸魚川市集落排水条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
125	糸魚川市集落排水事業受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
126	糸魚川市浄化槽事業条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
127	糸魚川市ガス供給条例の制定について	可 決
128	字の変更について	可 決
129	指定管理者の指定について（能生海洋公園）	可 決
130	指定管理者の指定について（海の資料館 越山丸・マリンミュージアム 海洋）	可 決
131	指定管理者の指定について（神道山公園）	可 決
132	指定管理者の指定について（糸魚川市グリーンメッセ能生）	可 決
133	指定管理者の指定について（シャルマン火打スキー場）	可 決
134	指定管理者の指定について（シーサイドバレースキー場）	可 決
135	糸魚川市市税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
136	糸魚川市入湯税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
137	糸魚川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
138	糸魚川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
139	糸魚川市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
140	平成28年度糸魚川市一般会計補正予算（第6号）	可 決
141	平成28年度糸魚川市柵口温泉事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
142	平成28年度糸魚川市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
143	平成28年度糸魚川市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
144	糸魚川市駅北大火に係るがれき処理に関する負担金徴収条例の制定について	可 決
145	平成28年度糸魚川市一般会計補正予算（第7号）	可 決
発議 8	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書	可 決
発議 9	監査請求に関する決議	可 決
発議 10	免税軽油制度の継続を求める意見書	可 決
発議 11	度重なる市内小中学校いじめ重大事態への早期対応と責任の明確化を求める決議	可 決
発議 12	被災者の復興支援を求める意見書	可 決
請願 4	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する請願	みなし採択
請願 5	免税軽油制度の継続を求める請願	みなし採択

決 議

市民生活に直接関わる緊急、重大な事項に関し、議会の意思を対外的に表明するために行う議決のことをいいます。

本定例会において、下記の決議が議員発議され、全会一致で可決しました。

監査請求に関する決議

地方自治法第98条第2項の規定により、次のとおり監査委員に対し監査を求め、その結果の報告を請求するものとする。

1 監査を求める事項

- (1) 権現荘の小林前支配人が、権現荘の飲食料品を自己消費の目的で使用した疑いがあることについて
- (2) 権現荘のレストラン火打の注文伝票を約1年間にわたって破棄していたことが委員会の調査で判明しているが、この間の横領が疑われることについて
- (3) 権現荘の取引において、前支配人と業者の癒着が疑われ、取引にかかる不正の疑いがあることについて

2 監査結果の報告期限

本請求日以降最初に開かれる市議会定例会の招集日まで

(理由)

柵口温泉施設権現荘の運営における上記項目について、不正、横領が疑われるため。

※議会の監査請求とは…議会が糸魚川市監査委員に対して、市の事務に関する監査を求め、その結果の報告を請求することをいいます。

度重なる市内小中学校いじめ重大事態への早期対応と責任の明確化を求める決議

県内を始め、全国において、痛ましいいじめ事案が発生し、尊い命までもが失われる悲痛な状況が連日報道されている。

糸魚川市内小中学校においても、糸魚川市いじめ防止条例、いじめ防止基本方針等に沿っていじめの未然防止と早期発見、早期対応に努めているところであるが、現状として、いじめの認知件数は増加傾向にあり、当市議会総務文教常任委員会にも、いじめ重大事態が、連続して報告されている危機的状況である。

特に今年度発覚しいじめ重大事態については、初期対応の不徹底、学校と運動クラブとの関係改善を含めた事後対応の不足など、糸魚川市教育委員会の対応の鈍さと、発覚後の時間が経過しているにもかかわらず責任が明確化されていないなど、過去の教訓が生かされることなく、多くの課題を抱えたままの状態である。

子ども一貫教育方針を進めている糸魚川市として、現在顕在化しているいじめ事案への早期対応と、責任の明確化を求めるとともに、子どもたちの健やかな育成と未来に夢を持ち続けられる環境の整備のために、いじめの未然防止、早期発見と早期対応の更なる徹底を求めるものである。

以上、決議する。

平成28年12月27日

糸 魚 川 市 議 会

行政視察報告

市の課題や先進事例を調査するため、他団体を視察します。

平成28年度の行政視察の概要は、次のとおりです。視察後は、各委員会の中で意見集約し、本会議での委員長報告や、行政への情報提供、提言を通して、市政に反映していきます。

総務文教常任委員会

(10月19日～21日)

視察先／調査項目／調査内容

- ① 長野県筑北村／温泉宿泊施設の指定管理者制度移行／制度移行時及び運営方法等先進事例を確認
- ② 奈良県橿原市／子ども総合支援センターの取組／発達の様子が気になる段階から、子どもと保護者、関係者を早期から支援する総合施設。発達相談や教育相談、ふれあい教室や、個別療育、機能訓練、保護者同士の交流促進、教職員の研修を実施
- ③ 京都府城陽市／教育委員会改革／開かれた教育委員会制度として、教育委員会評議会の設置、教育委員協議会の公開等教育行政への市民参画を推進
- ④ 福井県福井市／学力向上の取組／全国学力テストの結果が毎年度高水準である福井市の教育環境、取組を視察



橿原市で子ども総合支援センターを視察

建設産業常任委員会

(10月5日～7日)

視察先／調査項目／調査内容

- ① 奈良県宇陀市／薬草栽培の取組／薬草協議会を立ち上げ6次産業化を推進し、健康維持と雇用確保を中心に地域振興を図る
- ② 京都府京丹後市／公共交通政策の取組／200円レールや200円バスのほか、EV（電気自動車）乗合タクシー、ささえ合い交通など様々な公共交通政策を実施
- ③ 福井県敦賀市／市街地活性化の取組について／赤レンガ倉庫を整備し、市内の様々な施設と結びつける地域の魅力を発信



宇陀市で薬草栽培の現地を視察

市民厚生常任委員会

(8月7日～8日(①～③)、10月18日(④)及び11月21日(⑤))

視察先／調査項目／調査内容

- ① 一般財団法人日本環境衛生センター(東京都)／PFI関連事業／DBO方式(設計・建設及び運営・維持管理の一括事業)により、ごみ処理を整備するメリット・デメリット等を確認
- ② 福島県福島市／あらかわクリーンセンター／DBO方式でストーカ式のごみ処理施設を整備。施設の運転やメンテナンスを行う管理事務所の職員を地元で雇用
- ③ 栃木県矢板市／認知症対策／認知症の早期診断・早期治療とMCI(正常と認知症の中間の状態)の人の認知症予防につなげるため、65歳以上の市民を対象に認知症検査を実施
- ④ 新潟県／請願審査／新潟水俣病のあらましを調査
- ⑤ 長野県小諸市／クリーンヒルこもろ／DBO方式でストーカ式のごみ処理施設を整備し、平成28年1月から稼働したごみ処理施設の運転状況等について調査



小諸市でごみ処理施設を視察

議会運営委員会

(10月25日～26日)

視察先／調査項目

- ① 栃木県佐野市議会／タブレット端末※の導入の経過、現状及び課題について、議会報告会の現状と課題について
- ② 栃木県大田原市議会／タブレット端末の導入の経過、現状及び課題について、議会報告会の現状と課題について
- ③ 埼玉県飯能市議会／議会改革について、タブレット端末の導入の経過、現状及び課題について

他自治体議会からの視察受入状況

糸魚川市議会では、他自治体議会からの視察を積極的に受け入れています。

■ 平成28年中の視察受入団体名 (合計: 40団体 282人)

※都道府県順

特に視察の多かった項目は、子ども一貫教育、糸魚川世界ジオパークなどです。

- | | |
|--|-------------------------|
| ●北海道／鹿追町議会 | ●静岡県／浜松市議会、三島市議会、牧之原市議会 |
| ●宮城県／登米市議会 | ●愛知県／刈谷市議会 |
| ●秋田県／由利本荘市議会 | ●岐阜県／本巣市議会 |
| ●富山県／砺波市議会、立山町議会 | ●大阪府／高槻市議会 |
| ●福井県／大野市議会 | ●京都府／舞鶴市議会、亀岡市議会、城陽市議会 |
| ●長野県／小諸市議会、下伊那郡北部5町村議長会、
下諏訪町議会、松川村議会 | ●滋賀県／湖南市議会 |
| ●東京都／昭島市議会、日野市議会 | ●兵庫県／姫路市議会、尼崎市議会 |
| ●神奈川県／南足柄市議会 | ●島根県／出雲市議会 |
| ●茨城県／結城市議会 | ●愛媛県／西条市議会 |
| ●栃木県／矢板市議会 | ●福岡県／中間市議会 |
| ●群馬県／館林市議会、渋川市議会 | ●熊本県／水俣市議会 |
| ●埼玉県／松伏町議会 | ●鹿児島県／いちき串木野市議会、指宿市議会 |
| ●千葉県／市原市議会、木更津市議会、我孫子市議会 | ●沖縄県／名護市議会 |

※タブレット端末…薄型軽量のタッチパネル式コンピュータ。議会関連資料を電子化するペーパーレス化と、文書保存・管理並びに議会運営の効率化などを期待し、導入する自治体議会も増えている。

議員発議による意見書の提出

議員発議により提出された次の発議を本定例会で可決し、意見書を関係機関に提出しました。

- 【発議第8号】 新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、環境大臣
- 【発議第10号】 免税軽油制度の継続を求める意見書
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、国土交通大臣
- 【発議第12号】 被災者の復興支援を求める意見書
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

「糸魚川市駅北大火」に対し、 たくさんのお見舞いと励ましの言葉を 頂きました。

この度の「糸魚川市駅北大火」に対しまして、他自治体の議会の皆様から多くのお見舞いと励ましのお言葉を頂きました。皆様のご厚意に心から感謝いたします。

頂いたお見舞金は、被災者への生活支援や、被災地の復旧・復興のために有効に使わせていただきます。

議会を傍聴

しませんか

次回定例会日程

3月市議会定例会の会期及び日程(予定)

2月20日(月)	本会議(議案説明・委員会付託等)
23日(木)	議会運営委員会
24日(金)	本会議 一般質問
27日(月)	本会議 一般質問
28日(火)	本会議 一般質問
3月1日(水)	本会議 一般質問
2日(木)	総務文教常任委員会
3日(金)	建設産業常任委員会
7日(火)	市民厚生常任委員会
8日(水)	予算審査特別委員会
9日(木)	予算審査特別委員会
10日(金)	予算審査特別委員会
13日(月)	予算審査特別委員会
15日(水)	議会運営委員会
16日(木)	本会議(委員長報告・質疑・採決等)

- 通常、本会議は6階の議場、委員会は5階または6階の委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議(議場)の傍聴席入口は7階です。庁舎東側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入してご入場ください。
- 議場、委員会室入口には傍聴時の注意事項を掲示してありますので、傍聴前にご一読ください。
- 席数は議場54席、委員会室8席と制限があります。団体で傍聴希望の場合は、事前にお問合せください。
- 手話通訳を希望される方は、事前にお問合せください。

※3月定例会で議題とする請願・陳情は、2月10日(金)までに提出されたものになります。詳しくはお問合せください。

市議会をホームページでご覧いただけます。

市議会のホームページで、本会議の中継映像、録画映像と、予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。インターネットに接続した機器(パソコンなど)で視聴できます。

また、ホームページでは本会議の会議録も掲載しています。ご覧ください。

